学校番号	２１０

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校改訂版標準現代文Ｂ」（第一学習社）						
副教材等	「ビジュアルカラー国語便覧　改訂版」（大修館書店） 「パーフェクト常用漢字」（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・４年制大学の受験を見越して 1、2 年次よりも難解な文章を扱う。これまで以上にしっかりと授業に臨むこと。
・漢字に関しては、日々の積み重ねが大変重要である。コツコツ取り組むこと。
・平常点もこれまで通り成績に大きく関わるため、小テスト・提出物等にはしっかり取り組み、期限内に必ず提出すること。

2　学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高め、国語を尊重してその向上を図る。	効果的に話し、的確に聞き取り、自分の考えをまとめ深める。	適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ深める。	的確に読み、目的に応じて幅広く読み、自分を深め発展させる。	言語文化・言葉の特徴やきまり・漢字を理解し、知識を身につける。
評価方法	・行動の観察 ・記述の確認 (ノート、ワークシート等)	・行動の観察 (グループワーク等) ・記述の確認 (ノート、ワークシート等)	・記述の確認 (ノート、ワークシート等)	・行動の観察 ・定期考査	・記述の確認 (ノート、ワークシート等) ・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	随想	『ワスレナグサ』 星野道夫	○			◎	○	a: わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。作品の主題に迫り、自然についての思索を深めている。 d: 文章の構成について理解している。本文のタイトルの意味するところを理解している。 e: 全文を正しく音読できる。 自然と人間とのかかわりについて書かれた他の文章を読み、より深い作品理解に努めている。	a:授業態度/課題の提出(ノート、意味調べプリント、学習課題集) d:指名音読 e:定期考査
	評論	『記憶のゆがみ』 高橋雅延	○	○		◎	○	a: わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。筆者の主張に迫り、自身が物事に取り組む際の姿勢について考えている。 b:発問(思い込み度テスト等)に関する自分自身の思い込みを他者の意見を聞いたり、自分で質問をして明らかにしようとしている。 d: 「思い込み」が生じる原因や、「思い込み」が問題となるような状況について理解している。 e: 全文を正しく音読できる。 慣用表現の用法について正しく理解している。	a:授業態度/課題の提出(ノート、意味調べプリント、学習課題集) b:行動の観察 d:指名音読 e:定期考査
	小説	『ひよこの眼』 山田詠美	○			◎	○	a: わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。 d: 回想形式で始まる構成の特徴を理解している。語り手の視点を意識し、登場人物の心理の変化をつかんでいる。e: 全文を正しく音読できる。作者の表現の特徴をつかんでいる。	a:授業態度/課題の提出(ノート、意味調べプリント、学習課題集) d:指名音読 e:定期考査

	評論	『物語を発現する力』 佐藤雅彦	○		○	◎	○	a: わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。五コマ漫画や八つの場面から物語を積極的に創造しようとしている。 c:教科書のイラストから読み取った物語を自分の言葉で表現しようとしている。 d: 具体例が本文の中で持つ役割について理解している。筆者が考える「物語を発現する力」の意味について理解している。 e: 全文を正しく音読できる。慣用表現の意味について正しく理解している。	a:授業態度/課題の提出(ノート、意味調べプリント、学習課題集) c:記述の確認 d:指名音読 e:定期考査
二学期	評論	『僕らの時代のメディア・リテラシー』 森達也	○			◎	○	a: わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。筆者の主張に迫り、民主主義について思索を深めている。 d: 「個人」や「平等」という言葉の本文中における意味を理解している。伝統的な社会と近代では「デモクラシー」がどのように変化したかを理解している。 e: 全文を正しく音読できる。 評論に特徴的な語句の意味について理解を深めている。	a:授業態度/課題の提出(ノート、意味調べプリント、学習課題集) d:指名音読 e:定期考査
	小説	『山椒魚』 井伏鱒二	○			◎	○	a: わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。山椒魚が陥ったような考えにとらわれたことがあるか、自己に引きつけて考えている。 d: 場面ごとの山椒魚の心情の変化を理解している。作中の物事がどのようなことを象徴しているかを理解している。 e: 全文を正しく音読できる。作中で用いられているさまざまな表現技法について、その効果を理解している。	a:授業態度/課題の提出(ノート、意味調べプリント、学習課題集) d:指名音読 e:定期考査
	小説	『山月記』 中島敦	○			◎	○	a: わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。自分の内に虎を自覚することがあるか、自己に引きつけて考えている。 d:主人公の変身にこめられた意味を考え、この小説の主題をつかんでいる。「臆病な自尊心」「尊大な羞恥心」について理解している。 e: 全文を正しく音読できる。漢文脈を駆使した独特の表現を理解している。	a:授業態度/課題の提出(ノート、意味調べプリント、学習課題集) d:指名音読 e:定期考査

	短歌と俳句	『折々のうた』 大岡信	○			◎	○	a: わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。 d: 短歌・俳句に対する筆者の考えを把握し、自己の中で考えを深めることができている。 e: 短歌・俳句を正しく音読できる。表現上の特色を理解している。	a:授業態度/課題の提出(ノート、意味調べプリント、学習課題集) d:指名音読 e:定期考査
三学期	評論	『経験の教えについて』 森本哲郎	○			◎	○	a: わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。経験に学ぶことの重要性を、自己の問題として考えている。 d: 論の展開のしかたを理解し、論旨を的確に把握している。具体例と抽象的な記述との関係を理解している。経験と自己認識との関係について理解している。 e: 全文を正しく音読できる。指示語、接続語について正しく理解している。	a:授業態度/課題の提出(ノート、意味調べプリント、学習課題集) d:指名音読 e:定期考査
	評論	『新しい博物学を』 池内了	○			◎	○	a: わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。異文化コミュニケーションの考え方を、身近な問題に引きつけて考えている。 d:具体例と抽象的な記述との関係を理解している。「異文化コミュニケーション」が文化の「違い」に着目する理由を理解している。 e: 全文を正しく音読できる。慣用表現の用法について正しく理解している。	a:授業態度/課題の提出(ノート、意味調べプリント、学習課題集) d:指名音読 e:定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。